

折尾駅舎を「改札口」として活用する会
折尾駅舎は、折尾地区総合整備事業の線路高架事業により、新しい高架橋に駅舎の約半分がかかるため、「**現在の位置での保全・活用をすることはできない**」となっています。

そこで、「北九州市」と「おりお未来21協議会」が協働でワークショップを開催し、協議の結果、将来、**保全・活用する場所として2案が決定**しました。どちらの案になるか、**まだ保留状態**です。

①案 折尾駅南口駅前広場（スペースが無いいため片翼を残す）



②案 堀川沿い歴史公園（東筑橋と3号線の間、両翼を残す）

ただし、将来、保全・活用するためには、「敷地取得費、建物の建築費を、地域住民が、住民や企業に寄付金を募り、管理運営まで自主財源で賄うこと」等の条件があり、約10年後の**保全・活用は、非常に困難だと思われる**。

◆ 平成22年9月、**住民の要望により**、北九州市は、折尾駅舎と白石書店の間の「**トイレ位置に、仮改札口をつくる**」ことを決定しました。

これにより、「**①案 折尾駅南口駅前広場**」が可能になりました。
よって、下記のことを提言します。

- ・ **仮改札口は、折尾駅舎中央の二階建て部分の形を再現する。**
- ・ **「待合室」の特徴ある形を再現する。**
- ・ **現存するシンボリックな部材を最大限に活かす。**

仮改札口案が実現すれば、**折尾のシンボル「折尾駅舎」を、今すぐに保全・活用**できます。たとえ、**10数年にわたる工事期間中でも、折尾駅や堀川運河等は、観光資源として活かすことができます。**
現在、工事により衰退した**折尾の街を活性化**するためにも、『**折尾駅舎を取壊して産業廃棄物にするのではなく、「折尾らしいたたずまいの街づくり」**と一緒に実現しませんか？！

連絡先：折尾駅舎を「改札口」として活用する会
TEL：090-9407-1193、<http://www.geocities.jp/orioekisya2011>

下記は、平成21年6月、北九州市より発表された「折尾駅舎保全・活用基本方針」抜粋です。

<保全・活用の目的>

- 折尾駅舎が担ってきた**地域のシンボル性を守り伝えていくこと。**
- これまで地域住民が折尾のまちづくりに取り組んできた**象徴を残すこと。**

<保全・活用方法>

- 折尾の文化を大切にし、地域の人々が活用できる「**生きた施設**」として、複製保全する。
- 複製保全においては、歴史性を考慮して、**現存するシンボリックな部材を最大限に活かす。**
- 保全・活用の概要

時 期：平成30年以降（土地区画整理事業進捗に合わせて実施）

場 所：南口駅前広場（現在の東口駅前広場）付近

堀川沿い歴史公園（駅から南に500メートル離れた場所）

活用策：地域の人々が活用するだけでなく、**観光資源**ともなるような施設を目指す。

<基本方針の見直し>

この基本方針を実現するまでには「折尾地区総合整備事業」のスケジュール上、長い期間を要する。その間に、市民のニーズや社会状況の変化等も想定されるため、

時代の変化に合わせ、随時見直しを行っていく。